山弓連

平2~1号

2年5月12日

全県から選手権を目ざして

61名参加

段位別選手権大会

五段と女子は七中競射でV決定

四月二十二日県営弓道場で開催。申し込みは八六名だったが欠席者が多く、実人員は六一名。やや淋しい感。欠席率の最も少なかったのは称号者の部であった。さすが!!

各部の申し込み数と出場実人員は次の通り。

女子 20（12） 二段以下 9（7） 三段 7（3） 四段 9（7）

五段 20（13） 称号 21（19） 計 86（61）

参加者が少ないのはなぜ？ 会場の中から聞こえてきた声を集めてみると～

・県選手権大会という権威ある会だから、少数精鋭になる。

・四月は各支部のとりくみが本格的になっていないから参加勧誘をあまりしていない。

・勝つ人がきまってしまって面白くない。・忙しくて駄目だ。

（ホントはどうなのでしょうか？…）

試合は各種別とも接戦が続き、三種別の優勝が射詰め競射で決まったが、中には、三段の部のように、三人出場し全員入賞という変則事態も生じ、今後の課題を残した。

競技成績は次の通り。

種別	一位	二位	三位
女子	久保寺弘美（甲府）7中	中川美鈴（中巨）7中	姫野幸子（東山）6中
二段以下	伊藤 弘（西八）4中	荒井紀彦（吉田）4中	浅野光男（北巨）4中
三段	柳本武彦（北巨）5中	深沢一正（南巨北）3中	白須吉人（吉田）0
四段	雨宮 哲（東八）6中	長沢菊雄（南巨北）5中	前田 昭（南巨北）3中
五段	深沢 勇（中巨）7中	曽根勝男（南巨北）7中	永井秀太郎（南巨北）6中
称号者	西堀泰弘（甲府）7中	不動田光熙（北都）6中	高部保延（都留）5中

和智が全国五位（遠的）

全日本大会（京都）で県勢活躍

五月二日～四日に行われた全日本弓道大会には山梨から一五人の選手が参加したが、その中で、二日の遠的の部に出場した和智一雄選手は日頃の練習の成果を十分に発揮し、予選皆中で通過、決勝射詰では六本目まで連続的中、みごとに五位に入賞した。あるいは優勝？との期待も抱かせたが、全国の強豪を相手にここまでやれればアッパレと言うべきであろう。

また、遠的の細沢篤選手、近的の中沢会長も予選通過して決勝へ進出したが惜しくも入賞は成らなかった。

また、近的では、「五段を取って三十三間堂で弓を引きたい」という父親の念願がかなった親子三人組（保坂寿太郎84才五段・美文錬士・兼光五段）の出場が話題になった。

オメデトウ

・京都審査合格者

五月五日～六日の中央審査会で三人の昇段昇格者が誕生した。

教士 佐野辰巳

七段 中沢利正

六段 西堀泰弘

いずれも日頃の修練の結果がみのったもの。心からお祝い申し上げます。

拍手!!

おこごと頂戴◆◆◆

大会終了後の講評で渡辺顧問（前会長）から、おこごとをいただいた。

1. 矢渡しを見る態度がよくない。外をブラブラしながら、雑談をしながら……など。もっと厳粛に見てもらいたい。

2. 受賞者は大会の華。受賞に際しては、姿勢、歩き方、礼のしかたなど、基本動作をキチンと実行してもらいたい。ふだんの修練をこういう時にこそ発揮してほしい。

たいへん耳の痛い指摘でした。次からはお互いに気をつけて「弓の大会」らしくしましょう。

県内審査講習会

＝4月29日＝

今年は名称も「県内審査講習会」と衣がえし、講習内容も、初段～四段受審者に向けてのものにしぼって実施した。体配、射技、学科にわたる講習をたっぷり一日かけて行ったので、今年の審査会の合格率は、かなり高くなるのでは……と期待している。今回の受講者は21人。果して何人合格するか。13日と20日がたのしみ。

×申込期限に遅れる人の多いのは残念×

「松下電器甲府」「松下精機事業部」が兄弟出場

全日本勤労者弓道選手権大会県予選

六月九・十日に金沢市で開かれる標記大会の県代表二チームを決める予選会を、四月十五日に行ったが、エントリーしたのは松下電器の兄弟チームのみで結局、そのまま県代表と決定した。しかし、せっかく集まったのだからということで両チームで練習試合を行った。その結果は次の通りで、いずれも本大会の第一次予選通過ライン（20射10中以上）を超える成績であり、今年はなんとか期待がもてそう…。

	一回戦	二回戦
甲府工場	11中	15中
精機事業部	10中	12中

しかし「参加チーム二」というのは如何にも淋しい。今年は常連のNTTが出場を見合わせ、また、かつて四回連続予選通過の実績をもつ穂役場も、このところ不参加がつづいている。東電、教職員、宇佐美建設等にも期待したのだが…。来年は多数の参加を望みたい。ということで、松下兄弟チームのガンバリを祈る。

地方の話題

一宮浅間社の梁ピカピカ

四月十五日浅間社奉納大会に参加した人は気がついた筈だが、同社弓道場の梁がピカピカ。それもそのはず、三月末に予算⑦十万円かけて鉄骨ヅりのみごとな梁を完成させた。半額は神社で負担、残りは会員の寄付や勤労奉仕でまかなったという。一宮弓道会員の熱意と努力の結晶というべきか。その熱意が神の心に通じてか、あるいはそれに梁の新しさによる新鮮な気分も加わってか、当日の的中率はまことにすばらしく参加者一同、おおいに気をよくしたという。この梁で稽古に励む一宮弓道会の前途に神のご加護の多からんことを…。

高校総体

五月十・十一日両日にわたって熱戦が展開され、機山工（男）、巨摩高（女）がそれぞれ優勝した。戦績は次の通り。

□ 予選で男女とも上位16チームが決勝進出。

□ 決勝トーナメント（各20射）

・一回戦（男子）

峡南 12－11 上野原

北富士 16－6 吉田

石和 6－4 学院

園芸 16－6 韮崎

機山 15－9 甲工

巨摩 11－10 桂

身延 8－6 農林

甲一 10－7 日川

・二回戦

北富士 14－8 峡南

園芸 10－10（5－4） 石和

機山 14－12 巨摩

甲一 10－7 身延

・準決勝

北富士 14－13 園芸

機山 13－7 甲一

・三位決定戦

園芸 13－8 甲一

・決勝

機山 16－11 北富士

・一回戦（女子）

巨摩 11－2 山梨

石和 4－4（3－2） 桂

甲西 8－8（4－3） 峡農

甲一 7－5 上野原

市川 7－6 甲商

農林 12－10 身延

白根 11－10 韮崎

吉田 6－5 甲昭

・二回戦

巨摩 14－9 石和

甲一 10－7 甲西

農林 9－9（3－2） 市川

吉田 9－7 白根

・準決勝

巨摩 16－11 甲一

農林 5－4 吉田

・三位決定戦

吉田 9－5 甲一

・決勝

巨摩 12－8 農林

事務局から

・4・22の選手権大会の時の忘れ物を預っています。心当りの方、申出て下さい。

（ジャンパー）淡い水色がかった白っぽいもので、エンジの線が入っている。

・ついでにもう一つ。昨年の納射会（ずいぶん昔のこと）のあと、ウールの羽織がのこっていました。それらしき人に問ったのですが今もって持ち主不明で困っています。

というわけで、今回は忘れ物のお知らせ。